

文教環境分科会

議案第37号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)



9月14日
(午前)



9月14日
(午後)

不登校対策について

○不登校対策推進事業費 113万7,000円

【概要】 牧田小学校、桜島小学校、河曲小学校の3校に、(仮称)フリークラス(校内適応教室)を開設し、不登校傾向にある児童の初期対応支援を行うもの。

質疑 これまでにどのような不登校対策事業を行ってきたのか。(仮称)フリークラス(校内適応教室)について、今年度は10月から3月末まで実施するという事であるが、来年度以降も事業を継続していくのか。また、支援員にはどのような資格を持った人材を配置するのか。

答弁 これまでの不登校対策事業では、スクールライフサポーターや不登校対策教育支援員の派遣を行っている。(仮称)フリークラス(校内適応教室)について、今年度は3校で10月から3月末まで実施し、来年度はさらに拡大していきたいと考えている。また、支援員には教員免許を持っている人材を配置する予定である。



(仮称)フリークラス
(校内適応教室)

地域福祉分科会

議案第37号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)



9月15日
(午前)



9月15日
(午後)

私立保育所などへの給食費の補助について

○私立保育所等給食費補助 647万5,000円

【概要】 物価高騰の影響を受け、私立保育所などで給食の質を確保するために給食費の値上げが検討されていることから、保護者への転嫁の回避および負担軽減を図るため、物価高騰相当分の一部を私立保育所などに補助するもの。

質疑 園児の給食における食材費の物価高騰分の一部を補助するという事であるが、上限額を園児1人当たり月額250円とした算出根拠はどうなっているのか。また、足りない場合の対応はどうなるのか。

答弁 補助額の算出根拠は、総務省が公表する消費者物価指数の食料の項目を基に、補正予算を計上する段階における4月から6月の率を参考にした。前年同月比で、4月が4.0%、5月が4.1%、6月が3.7%であり、これを平均した3.9%を基準とした副食費の上昇幅は、一食当たり約7円であった。しかし、補助期間が来年3月までであり、今後の推移が予測しづらいことから、各園からの情報も参考にし、一食当たりの上昇幅を10円で設定し、月額250円を算出した。また、足りない場合の対応は、今後の社会情勢による影響を見ながら検討していく。